

麻酔科 後期研修プログラム

【麻酔科の特色】

2008年麻酔科管理件数	943例
全身麻酔（吸入）	111例
全身麻酔（TIVA）	666例
全麻（吸入）+硬麻	6例
全麻（TIVA）+硬麻	142例
その他	18例

【身につけられる手技・知識】

硬膜外カテーテル挿入、エコーガイド下中心静脈確保、分離肺換気、麻酔薬の血中濃度コントロール等

【取得できる資格】

麻酔科標榜医、麻酔科専門医、麻酔科指導医

- これまで、長期間の修練および経験で獲得できると思われていた技術を、各種デバイス使用により、短期間で習得できます。
当院麻酔科医発案の薬物濃度シュミレーターを使用することにより、安定した完全静脈麻酔を行い、かつ、指定時間での患者覚醒、ならびに、術後まで含めた疼痛管理を行なうことができます。
当院麻酔科医発案のブロッカーカテーテルを使用して、分離肺換気を簡便に行なうことができます。